

東山動植物園 お花畑 雲のトイレ



お花畑 全景

今回リニューアルされた東山動植物園、植物園内の「お花畑」は、彩り豊かな花壇や名古屋市内の眺望を楽しめるデッキやフォトスポット、遊具などが整備され、さまざまな世代のにぎわいと憩いの空間となっている。



外観

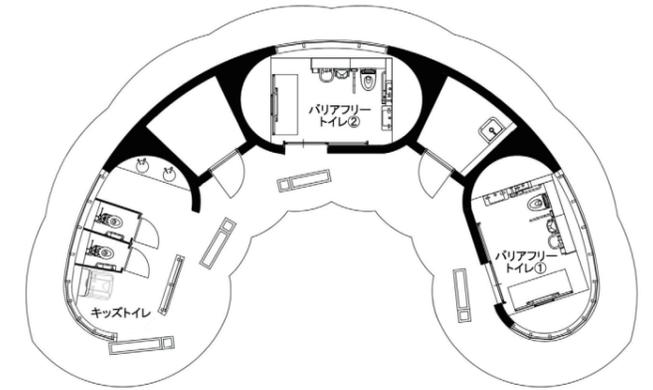
お花畑の雲の広場にある、雲をイメージした屋根を持つ「雲のトイレ」。ミストが出るエリアが隣接しているため、着替えにも利用できるよう広めの空間のバリアフリートイレ2ヶ所とキッズトイレの構成となっている。



キッズトイレ 入口

雲の広場の名にふさわしく、空を想起させるようなブルーのトイレサイン。動線が交わらないよう、2ヶ所に出入口を設けている。

図面



キッズトイレ 全体

お子様がひとりでも使用しやすい幼児用器具を設置したキッズトイレ。乳幼児連れも使用できるよう、ベビーシートが用意されている。



キッズトイレ 大便器ブース

空をイメージしたブルーの扉が印象的な大便器ブース。保護者が外から見守ることができるように、低めの壁で仕切られている。さらに、使用中の身体を保持するために手すりを設置している。



キッズトイレ おむつ替え・洗面コーナー

おむつ替えコーナーには、手荷物配慮として使いやすい位置にフックを設置。また、お子様が使用しやすい高さに設置された洗面コーナーには、非接触で手洗いができるよう自動水栓を採用している。

水まわりの特長

建物の特徴

1937(昭和12)年に開園した「東山動植物園」は、名古屋市東山公園内にある市営動植物園で、動物園、植物園、さらに遊園地が併設。2024(令和6)年現在、動物園での飼育種類数は日本一となっている。「環境の世紀」といわれる21世紀における動植物園の役割・使命の変化を背景に、「人と自然をつなぐ懸け橋へ」を目標に掲げ、2010(平成22)年に東山動植物園再生プランを策定。その一環として「花が創出するにぎわい・憩いの空間づくり」をコンセプトに、植物園内の「お花畑」を2024(令和6)年3月にリニューアルした。若い世代やファミリー層をはじめ、さまざまな世代の方にとって魅力ある空間になるよう、「SNS映え」するフォトスポットやお子様の遊具、名古屋市内の眺望が楽しめるデッキなどを整備した。

トイレの特長

リニューアルしたお花畑は、東山動植物園の公式マスコットキャラクターである妖精「ズーボ」が住む世界をイメージ。その高台にある芝生が広がるピクニックエリア「雲の広場」には、「雲のトイレ」を新たに整備。屋根を雲の形とし、ズーボの世界観を演出している。トイレは、ミストが出て水遊びのできるエリアが隣接しているため、着替えにも利用できるよう広めの空間のバリアフリートイレを左右勝手違いで2ヶ所、さらにキッズトイレの構成となっている。バリアフリートイレは、車いす使用者やオストメイト、お子様連れに配慮して、汚物流しやベビーチェア、フィッティングボードを備えたコンパクト・バリアフリートイレパックを採用し、収納式多目的シートも完備。雲の広場の魅力を演出するトイレが完成した。



バリアフリートイレ 入口

左右勝手違いで、隣接して設置されたバリアフリートイレ。トイレ入口には、設置器具がひと目でわかるピクトグラムを表示している。



バリアフリートイレ①

左手のバリアフリートイレ①。車いす使用者やオストメイト、お子様連れに配慮して、汚物流しやベビーチェア、フィッティングボードを備えたコンパクト・バリアフリートイレパックを設置している。



バリアフリートイレ②

右手のバリアフリートイレ②。壁の上部をすりガラスとし採光を得ることで、自然な明るさを確保。また、着替えやおむつ交換などに使用できる、収納式多目的シートも完備している。

建築概要

名称	東山動植物園 お花畑 雲のトイレ
所在地	愛知県名古屋市千種区(東山動植物園内)
施主	名古屋市
設計	株式会社アイ・エス・エス
施工	イリヤ建設株式会社
竣工年月	2023年11月
敷地面積	約362,392.85㎡(植物園エリア)
建築面積	59.62㎡
延床面積	42.05㎡
構造・階数	鉄骨造・地上1階
おもなTOTO使用機器	
洗面器	LS705 / 台付自動水栓:TLE26SS系
コンパクト・バリアフリートイレパック	UADBK61R1A1ADD2W、UADBK61L1A1ADD2W
収納式多目的シート	EWCS20AR系 / 幼児用大便器:CS300B
ベビーシート	YKA24S / 幼児用手すり:YYB10